

| | |
|------------------------|--------------------|
| ◆ 主 題 名 (生徒に提示するもの) | 働く私を突き動かすもの |
|------------------------|--------------------|



| | | |
|--|-----------|------------------|
| 内容項目 C - 13 | 見出し 勤労 | 教材名 あるレジ打ちの女性 |
| 価値項目 1・2・3・4 勤労の尊さや意義を理解し、将来の生き方について考えを深める。 | | |
| 本時のねらい ・ 望ましい勤労観を抱き、職業人としての生き方に展望をもつ。 | | |

| | |
|--------------------|--|
| 主題発問に向かうための導入・場面発問 | |
| 導 入 | 発問 楽しい・充実している仕事の条件はどんなものがあるか。 補助発問 どういう面でそう思う？ |
| 場 面 ① | 発問 彼女はどんな気持ちで転職を繰り返していたのか。 補助発問 仕事に対しては？ 周囲の人には？ 自分に対しては？ |
| 場 面 ② | 発問 なぜ彼女はもう少し頑張ろうという気持ちになったのだろう？ 補助発問 きっかけは？ どんな気持ちになった？ |
| 場 面 ③ | 発問 レジ打ちを極めることで変わっていったことは何でしょう？ 補助発問 変わったことで、どんな気持ちになった？ どんなことに気づいた？ |

| | |
|-----------|--|
| ◆ 主 題 発 問 | レジの主任になった彼女は、「仕事のすばらしさについて」どのように伝えていったのだろう。 |
|-----------|--|

| | |
|----------|---|
| ◆ 学び合い活動 | 場面発問① 場面発問② 場面発問③ 主題発問 |
| | 個 ⇨ (ペア ・ グループ フリー) ⇨ 個 |

| | |
|---------|--|
| 留 意 点 等 | <p>・ 内容項目が「勤労」であることを確認しましょう。自主・自律や向上心、克己や感謝でもありません。主人公の生き様から酌み取るべき主題は、あくまでも「勤労の意義とそれに立脚したよりよい生き方」です。授業展開の中で、その点を見失わないよう注意したいものです。例えば、「お客さんと心を通わせたことに感動し、その感謝の気持ちから主人公は涙した」と考える生徒がいるかもしれません。しかし、それでは主題から外れてしまいます。<u>彼女は、これまでの短絡的で自堕落的な勤労観から抜け出し、自分なりの「働く意義」を見出したことで、大きな充実感と人生の喜びを得たはず</u>です。ここに、本時の主題が見え隠れするのではないのでしょうか。主題を確認しながら、そこに向かう道筋をしっかりと保っていきたいですね。この教材が、単なる感動話だと捉えられないように・・・</p> |
|---------|--|

| | |
|-------------|--|
| 授 業 後 の 感 想 | <p>中心発問に対する生徒の答えが、各々の人生で価値が高いと考えていることに結びついているように感じた。留意点にあるように、主人公が今までの自分に足りなかったものを、この仕事に向き合うことで見つけたととらえることができていると思うが、その内容が多岐にわたっていた。人との関わり、人の役に立つこと、達成感をもつこと…。その価値のぶつけ合いが、学び合い活動の意義だと思う。</p> |
|-------------|--|